



備える

その30「被災家屋の安全度」

どの程度の被害なら家が住み続けることができるのか。新潟県中越地震の発生で、あらためて「家の防災」に注目が集まっている。被災者には戸惑い、東海・東南海地震への大きな教訓があったのか。二次災害を防ぐため、被災家屋の応急危険度判定士として現地に派遣された愛知県建築指導課の鈴木雄二さん(右)と山川博幹さん(左)に聞いた。聞き手・福田要。

「被災地はすごかった。ちりりには注意が必要。中での生活は困難だ。」
「液状化と家を建て直すしかないのか。ただ地盤が盛り上がったけなら、土を切り除いて床を平らにすればいい。しかし、実際に見た家は、あちこちが別々の方向に傾いていた。つなぎ目の破損は詳しく調べないと判断できないし、地盤が安定したのかどうかも心配が残る。」
「使える家には「調査済」と書いた緑の紙を張ることに。」
「この紙を張ったら安心。」
「家の構造と被害の関

新潟中越地震の被害家屋

日本海沿いの刈羽村は液状化による被害が特にひどかった。住民に呼ばれて家の中の様子を見たら、盛り上がった地面に押しつぶされた畳が持ち上がり、障子がゆがんでいた。家屋もかなり傾いていたので「危険」と判定して赤い紙を張った。この判定が出る中に入らず、避難所などで泊まらなくてはならない。黄色い紙の「要注意判定」でも立

要注意も生活困難に

愛知県から派遣 応急危険度判定士が見た現地



住宅耐震化の主な問い合わせ先

愛知県/県建築指導課	052(961)2111	内2834
県建設住宅センター	052(264)4032	
名古屋市/市耐震対策係	052(972)2921	
三重県/県住宅室	059(224)2720	
三岐早良県/県建築指導課	058(272)1111	内3785
長野県/県建築管理課	026(235)7334	
福井県/県住宅課	0776(20)0506	
滋賀県/県住宅課	077(528)4231	



進む大型施設の対策

■大ホール
二千五百席の大ホール、千八百席のコンサートホール、美術館などを備え、計二万人を収容できる愛知芸術文化センター(名古屋市中区)。建

人だかりが分散の避難誘導カギ

パニック誘発

「お客さんに冷静に避難してもらおうか(地震対策)の非常口を確保。各ホール、美術館などを防災担当者、イベント開

震度7で壊滅川口町ルポ

家の基礎で明暗

新潟県中越地震で最も大きな震度7を記録した川口町を十一月十日、十



隣同士で全壊と無傷に分かれた住宅。しかし、右側の住宅は、隣家が倒れかかったため「危険」と判定された=11月16日、新潟県川口町で

「大地震が発生した時に後悔しても手遅れ。家屋の倒壊は一瞬で起きる。震度6以上の揺れでは人間はまともに動くことすらできない。安全なのは家の中か外か」と質問されるが「その時」に動ける保証はない。大切なのはやがて来る地震への想像力。揺れへの対策で大切な家や家具を傷つけない、という考えが根強い。うちはまだまだと思えます。

液状化深刻 ゆがむ障子

「液状化と家を建て直すしかないのか。ただ地盤が盛り上がったけなら、土を切り除いて床を平らにすればいい。しかし、実際に見た家は、あちこちが別々の方向に傾いていた。つなぎ目の破損は詳しく調べないと判断できないし、地盤が安定したのかどうかも心配が残る。」

震度7で壊滅川口町ルポ

「お客さんに冷静に避難してもらおうか(地震対策)の非常口を確保。各ホール、美術館などを防災担当者、イベント開

震度7で壊滅川口町ルポ

「お客さんに冷静に避難してもらおうか(地震対策)の非常口を確保。各ホール、美術館などを防災担当者、イベント開

震度7で壊滅川口町ルポ

「お客さんに冷静に避難してもらおうか(地震対策)の非常口を確保。各ホール、美術館などを防災担当者、イベント開

震度7で壊滅川口町ルポ

「お客さんに冷静に避難してもらおうか(地震対策)の非常口を確保。各ホール、美術館などを防災担当者、イベント開